目次

**上海モーターショー2017におけるポルシェ**

[中国で3つのパナメーラモデルを初披露 3](#_Toc479174085)

[使いやすさを追加する新しいスポーツカーライン：パナメーラ スポーツツーリスモ 3](#_Toc479174086)

[918スパイダーのコンセプトを引き継ぐパナメーラ ターボS E-ハイブリッド エグゼクティブ 4](#_Toc479174087)

[中国市場専用のニューモデル：パナメーラ エグゼクティブ 4](#_Toc479174088)

[さらなるスポーツパワー：ニューポルシェ911 GTSモデル 5](#_Toc479174089)

[継続的な成長：中国のポルシェ 5](#_Toc479174090)

[新設：ポルシェ クラブ チャイナとポルシェ モータースポーツ アジアパシフィック 6](#_Toc479174091)

[上海でアジアのプレミア：スポーツツーリスモがポルシェのモデルラインを拡張 7](#_Toc479174092)

[オールラウンドスポーツカーのデザインとコンセプト 7](#_Toc479174093)

[セグメント初のアダプティブなエクステンディブルルーフスポイラー 8](#_Toc479174094)

[再設計されたリアの3シート 8](#_Toc479174095)

[長距離にわたる高性能とゆったりとしたスペース：ターボS E-ハイブリッド エグゼクティブ 10](#_Toc479174096)

[V8エンジンと電気モーターを搭載したユニークなドライブコンセプト 10](#_Toc479174097)

[スポーツカーの性能、長距離の快適性、および効率性の理想的な組み合わせ 11](#_Toc479174098)

[広範な標準装備パッケージ 11](#_Toc479174099)

[中国専用：ポルシェ パナメーラ エグゼクティブ 13](#_Toc479174100)

[ハイエンドタブレット付きポルシェ・リアシートエンターテイメント 14](#_Toc479174101)

[ダイナミック、快適、そして効率的 – ニューポルシェ911 GTSモデル 15](#_Toc479174102)

[さらなる性能のためのさらなるパワー 15](#_Toc479174103)

[GTS特有のインテリアとエクステリアの多数のブラックエレメント 15](#_Toc479174104)

[新しいポルシェ・トラックプレシジョンアプリと高品質の装備 16](#_Toc479174105)

[最新式ドライブを備えたニュー911 GT3カップ 17](#_Toc479174106)

[燃料消費量とCO2排出量 19](#_Toc479174107)

2017上海モーターショー2017のポルシェ

# 中国で3つのパナメーラモデルを初披露

**上海。**ポルシェはパナメーラ ファミリーを拡張します。4ドアスポーツカーの3つのニューバージョンは、上海モーターショー2017（2017年4月19－28日）でアジアプレミアを祝います。その中心となるのが、パナメーラ スポーツツーリスモのアジアデビューです。この新しいボディ仕様は、スポーツカーとラグジュアリーサルーン、そしてエレガントなデザインと高度な多用途性を革新的な方法で融合させています。こうしたデザインを実現しているモデルはセグメントでも稀有な存在です。そして、アジア市場でデビューを果たす2つ目のモデルがパナメーラ ターボS E-ハイブリッド エグゼクティブです。システムの合計最高出力が500kW（680PS）を誇るグランツーリスモモデルラインの新しいフラグシップモデルは、現在世界で最もパワフルなハイブリッドサルーンです。その潜在能力は、エレクトリックドライブによるゼロエミッションの短距離走行から高性能スポーツカーのドライビングダイナミクスまでを実現させるほどです。中国市場専用に開発されたパナメーラ エグゼクティブは、標準装備を充実させた新しい後輪駆動モデルであり、ロングホイールベースのパナメーラとしてはコストパフォーマンスに優れたエントリーモデルであると言えます。アジアにおける911 GT3カップのデビューは、アジア地域におけるポルシェ ワンメイクシリーズの着実な人気の高まりを示します。厳密な軽量設計によって重量は約1,200kgに抑えられ、最高出力357kW（485PS）を発生する4リッター水平対向エンジンを搭載しています。さらに、ニュー911 GTSモデルもアジアで初めて公開されます。

## 使いやすさを追加する新しいスポーツカーライン：パナメーラ スポーツツーリスモ

パナメーラ スポーツツーリスモは、グランツーリスモの理念を一新させたモデルです。大型テールゲートを備えた4ドアモデルは、ポルシェ特有のデザインDNAと増大した多目的スペースを兼ね備えています。Bピラーから後部へと続くスポーツツーリスモのルーフラインは、クーペスタイルのスポーツサルーンよりも直線的です。そのため、エレガントな外見が実現しただけでなく、乗員と荷物のためのスペースにさらなる余裕が生まれました（4+1シートコンセプト）。このニューモデルは大型の電動テールゲートを備えているため、大型のスポーツ用具やレジャー用の荷物を容易に積み込むことができます。一方、グランツーリスモのスポーツ性に変更はなく、どちらのボディラインもベースとなっている技術は同じです。パナメーラ スポーツツーリスモの中国市場の発売は2017年11月に開始される予定です。中国市場のモデルシリーズには、パナメーラ4、パナメーラ4S、パナメーラ4 E-ハイブリッド、パナメーラ ターボの4つのバージョンが揃います。

## 918スパイダーのコンセプトを引き継ぐパナメーラ ターボS E-ハイブリッド エグゼクティブ

ポルシェ918スパイダーは、パワフルなV8エンジンと高トルクのエレクトリックドライブを組み合わせたことにより、2013年にはニュルブルクリンクにおいて当時の最速タイムをマークしました。パナメーラ ターボS E-ハイブリッドはこのコンセプトを受け継いだモデルであり、世界で最もパワフルなハイブリッドサルーンとして他をリードします。パナメーラ モデルラインの新しいフラグシップモデルについては、中国市場ではロングホイールベースを備えた特に豪華なエグゼクティブバージョンが2017年10月以降に導入されます。パナメーラ ターボS E-ハイブリッドは8気筒エンジン（404kW/550PS）と100kW（136PS）の電気モーターを組み合わせており、平均燃料消費量（NEDC）は2.9リッター/100km、電気消費量は16.2kWh/100kmです。3.5秒の0－100km/h加速タイムはスポーツカーのトップクラスで、完全に充電した状態であれば、エレクトリックモードのみで約50km（NEDC）を走行することができます。シャシーについても、フラグシップパナメーラの技術は、スポーツカーのダイナミックなコーナリングからラグジュアリーサルーンの快適性までを実現させています。このパナメーラ ターボS E-ハイブリッドを誕生させたことにより、ポルシェは最高のスポーツ性能を追求し続けていく中でE-モビリティが重要であることをはっきりと示しています。

## 中国市場専用のニューモデル：パナメーラ エグゼクティブ

パナメーラ エグゼクティブはワールドプレミアを祝います。この車は、ロングホイールベース（150mm延長）と後輪駆動を特徴とした新しいスポーツサルーンであり、中国市場のみで販売されます。最高出力243kW（330PS）を発生する3リッターV6ターボエンジンを備えたこのパナメーラ エグゼクティブは、ロングホイールベースのパナメーラの中ではエントリーモデルであるため、中国市場のカスタマーにとってはその価格も魅力的です。ニューモデルの発売開始は2017年10月予定です。

## さらなるスポーツパワー：ニューポルシェ911 GTSモデル

特にパワーを求める911カスタマーのために、ポルシェは5つのニューモデルによってGTSスポーツカーの歴史に新しい1章を設けます。ニューモデルは、後輪駆動または4WDのクーペとカブリオレ、そして911タルガ4 GTSです。全バージョンが、強化された331kW（450PS）のエンジン、4WDモデルのワイドボディ、PASMスポーツシャシー、および特別に設計されたインテリアを備えます。新開発のターボチャージャーは、3リッター6気筒エンジンの最高出力を911カレラとタルガSモデルのエンジンより22kW（30PS）高めます。低いフロントスポイラーと高い位置に引き上げられたリアスポイラーが、911カレラSモデルよりもフロントとリアの揚力を抑えます。ブラックのデザインエレメント、ブラックカラー塗装のセンターロック方式20インチホイール、およびドアのGTSロゴがニューモデルのユニークな外見を特徴づけます。

## 継続的な成長：中国のポルシェ

ポルシェは中国で急激な成長を遂げています。2016年のポルシェの販売台数は前年を12%上回る65,246台でした。これによって、中国は2年連続でポルシェにとって最大の個別市場となりました。2016年も911の神話は続き、販売台数は前年比11％増を記録しました。また、新しい718ボクスター/718ケイマンは、本格的なスポーツカーブランドとしてのポルシェの地位をさらに高めました。4気筒水平対向ターボエンジンを搭載したこのスポーツカーは、1,300台以上が販売され、中国の若い世代に熱狂的に支持されました。今年のハイライトは新しい世代のパナメーラが導入されたことで、このモデルはスポーツカーの性能とラグジュアリーサルーンの快適性を完璧にマッチさせています。SUVセグメントにおいては、ポルシェ チャイナはめざましい業績をあげました。マカンとカイエンの販売台数が大幅に伸び、マカンは34,000台を販売して、前年比22%以上の伸びを見せました。この結果、ポルシェのベストセラーモデルとしての地位をさらに高めています。カイエンの販売台数も前年比約5.5%増を記録しました。

## 新設：ポルシェ クラブ チャイナとポルシェ モータースポーツ アジアパシフィック

ポルシェは、ポルシェ クラブ チャイナを創設してアジア市場におけるブランドワールドの展開を継続します。上海モーターショー2017とともに活動を開始するこの新組織は、ポルシェ チャイナが運営します。このクラブは、現在250名以上の会員を擁する既存の地域団体をひとつにまとめます。会員には、国際的なポルシェ イベントやコミュニティーへの参加、特別提供の利用、カレラカップ アジアなどのスポーツイベントへの出場といった特典が与えられます。

ポルシェにおいてモータースポーツは市販車の開発と密接な関係があります。ポルシェ カレラカップ アジアは、15年にわたってチームと観客を魅了してきました。2016年には、50万人以上の観客がサーキットで観戦し、さらに135を超える国の150万人がテレビでこのワンメイクシリーズを観戦しています。今年は10ヶ国から25台が出場する予定です。ポルシェは、ポルシェ モータースポーツ アジアパシフィックの創設によって、この取り組みとアジア地域のGTスポーツへの高まる情熱を支援および奨励します。将来、GTモデルのファクトリーとカスタマーモータースポーツの接点となる上海の新センターは、アジア初のポルシェ ドライビングエクスペリエンスセンターに設置されます。エクスペリエンスセンターはカスタマー専用のテストグラウンドで、FIA世界耐久選手権が開催される上海インターナショナルサーキットの近隣に現在建設されています。テストサーキット、オフロードコース、およびトレーニングルームを含む100,00m2を超える施設は、2018年の春にオープンする予定です。

ポルシェ パナメーラの新しいボディ仕様

# 上海でアジアのプレミア：スポーツツーリスモがポルシェのモデルラインを拡張

ポルシェは新しいボディ仕様を追加してパナメーラ ファミリーを拡張します。パナメーラ スポーツツーリスモは、ジュネーブモーターショーでワールドプレミアを祝ったわずか数週間後に、アジアで初公開されます。パナメーラ4、パナメーラ4S、パナメーラ4 E-ハイブリッド、およびパナメーラ ターボの4つのバージョンが中国市場に用意されています。成功を収めたスポーツサルーンをベースにしたニューバージョンは、他と見紛うことのないデザインによって、ラグジュアリーセグメントにおいて再び重大なステートメントを発表します。最高出力404kW（550PS）を発揮するスポーツツーリスモは、このクラスのどのモデルよりも多用途性に優れています。大型のテールゲート、低いローディングエッジ、大容量のラゲッジコンパートメント、そして4+1シートコンセプトを備えたニューパナメーラ モデルは、日常の使いやすさと最高の柔軟性を兼ね備えます。

技術およびデザインの面から見ると、スポーツ ツーリスモには、昨年発売されたばかりのニューパナメーラ モデルラインで導入された全てのイノベーションが使用されています。そこには、デジタル式ポルシェ・アドバンストコックピット、リアアクスルステアなどのシャシーシステム、アクティブ制御によるロール抑制システムのポルシェ・ダイナミックシャシー・コントロール・スポーツ（PDCCスポーツ）、パワフルで効率的なパワートレインなどが含まれています。さらに、パナメーラ スポーツツーリスモ全車両に、電子制御マルチプレートクラッチを備えたアクティブ4WDシステムのポルシェ・トラクション・マネージメントシステム（PTM）が標準装備されます。4 E-ハイブリッド、Sモデル、ターボ、およびハイエンド仕様車には、3チャンバーテクノロジーによるアダプティブエアサスペンションも標準装備されます。

## オールラウンドスポーツカーのデザインとコンセプト

スポーツツーリスモは、クーペスタイルのパナメーラ スポーツサルーンと同様に、ポルシェ デザインのDNAを反映するダイナミックなプロポーションによって特徴づけられています。全長5,049mm、全高1,428mm、全幅1,937mmで、延長されたホイールベースは長さ2,950mmです。短いオーバーハングと21インチまでの大径ホイールによるシルエットが際立ちます。

このスポーツツーリスモは、Bピラー（リアドア）を起点としたユニークなリアデザインが特徴的で、力強いショルダー部の上に設けられた細長いウインドウラインと長いルーフラインが人目を引きつける外観を作り上げています。ルーフ後部はウインドウラインよりもなだらかに下降し、特徴的なDピラーがクーペのようにショルダーセクションの中へと移行します。

## セグメント初のアダプティブなエクステンディブルルーフスポイラー

車両のルーフは、アダプティブスポイラーまで伸びます。ルーフスポイラーの角度が走行条件と選択した車両設定に応じて3段階にセットされ、リアアクスルに50kgのダウンフォースを追加します。速度が170km/h以下のときは、ポルシェ・アクティブエアロダイナミクス（PAA）の中心コンポーネントである空力ガイドエレメントが-7度の格納ポジションに維持され、空気抵抗を抑えつつ燃費を最適化します。

170km/hの速度を超えるとルーフスポイラーは自動的に+1度のパフォーマンスポジションに移動し、走行安定性と横方向のダイナミクスを高めます。スポーツ/スポーツ・プラスモードを選択して90km/hを超えるとルーフスポイラーは自動的にパフォーマンスポジションに移動します。90km/h以上のときにパノラミックスライディングルーフを開くと、PAAのアクティブなアシスタンスによってルーフスポイラーが+26度の角度に調節され、風切り音を低減します。

## 再設計されたリアの3シート

ニュースポーツツーリスモは3リアシートを備えた初のパナメーラです。最高の乗員快適性を備えたスポーツ性能というモデルラインの要求に合わせて、両側の2つのシートが独立した2+1のリアシート構成を備えます。パナメーラ スポーツツーリスモのオプションには、電動調節式の2つの独立リアシートを備えた4シート構成も用意されています。

スポーツツーリスモの高いルーフラインが後席の乗降を容易にし、広いヘッドスペースも確保しています。電動操作を標準装備したワイドな開口部のテールゲートによってラゲッジコンパートメントは使いやすく、ローディングエッジの高さはわずか628mmです。リアシート上端までのラゲッジコンパートメントの容量は520リッター（パナメーラ4 E-ハイブリッド スポーツツーリスモ：425リッター ）で、スポーツサルーンを20リッター上回ります。リアシートを前方に倒してルーフレベルまで積み込むと、さらに50リッターが追加されます。3つのリアシートのバックレストは同時または個別（40：20：40分割）に倒すことができ、ラゲッジコンパートメントから電動でロック解除して格納することができます。全てのバックレストを格納してローディングフロアの高さにすると、ラゲッジコンパートメントの容量は1,390リッターまで拡張されます（パナメーラ4 E-ハイブリッド スポーツツーリスモ：1,295リッター）。

パナメーラ スポーツツーリスモには、オプションでラゲッジコンパートメントマネージメントシステムが用意されています。荷物を固定するためのこの可変システムには、ローディングフロアに統合された2本のレール、4ヶ所のラッシングポイント、およびパーティションネットが含まれます。オプションの230V電源ソケットを取り付けることも可能です。

パナメーラ モデルラインの最もパワフルなモデルがアジアデビュー

# 長距離にわたる高性能とゆったりとしたスペース：ターボS E-ハイブリッド エグゼクティブ

ポルシェは長距離にわたって楽しめる高性能を実現しています。ニューパナメーラ ターボS E-ハイブリッドによって、プラグインハイブリッドモデルが初めてモデルラインのフラグシップとしてデビューします。パナメーラ ターボの4リッターV8エンジンと電気モーターの組み合わせは、システム合計出力500kW（680PS）の傑出したパワーを発揮します。パナメーラ ターボS E-ハイブリッド エグゼクティブは、アイドル回転数を少し超えた回転域から850N・mの最大トルクを発生します。中国専用エグゼクティブバージョンであるロングホイールベースパナメーラ フラグシップモデルの0－100km/h加速タイムは3.5秒をマークし、最高速度は310km/hに達します。4WDパナメーラのブーストプログラムは、スーパースポーツカーの918スパイダーに由来します。平均の燃料消費量（NEDC）は2.9リッター/100km、電気モーターのみで50km（NEDC）を走行することができます。パナメーラ ターボS E-ハイブリッドは、ポルシェがE-モビリティに深く関与していることを示すものです。

## V8エンジンと電気モーターを搭載したユニークなドライブコンセプト

ポルシェは、V6エンジンと電気モーターを併用するパナメーラ4 E-ハイブリッドのデビューの成功を受けて、ハイブリッドテクノロジーが大きな潜在力を備えていることを再び実証します。ニューパナメーラ ターボS E-ハイブリッドは、電気モーター（100kW/136PS）とV8エンジン（404kW/550PS）を組み合わせます。ポルシェ ハイブリッドモジュールに取り付けたデカプラーは、パナメーラ4 E-ハイブリッドと同様に、エレクトリッククラッチアクチュエーター（ECA）によって電気機械的に作動します。その結果が、素早いレスポンスタイムと高水準の快適性です。他の全ての2代目パナメーラ モデルと同様に、高速シフトの8速ポルシェ・ドッペルクップルング（PDK）が、標準装備されるアダプティブ4WDシステムのポルシェ・トラクション・マネージメントシステム（PTM）に駆動力を伝えます。ロングホイールベースラグジュアリーサルーンのE-パフォーマンスドライブによる0－100km/h加速タイムはわずか3.5秒をマークし、高回転域で驚異的なトラクションを発揮します。310km/hの最高速度によって、パナメーラ ターボS E-ハイブリッドはクラスのベンチマークを打ち立てます。エアサスペンションを標準装備するパナメーラ ターボS E-ハイブリッドは、ラグジュアリーサルーンの快適性とスポーツカーレベルの性能を兼ね備え、セグメントに独自のバランスを提供します。

電気モーターは、容量14.1kWhの水冷式リチウムイオンバッテリーによって電力供給されます。リアに搭載された高電圧バッテリーは、230V/10A電源で6時間以内にフル充電されます。標準装備の3.6kWチャージャーの代わりにオプションの7.2kWオンボードチャージャーを使用すると230V/32A電源によってわずか2.4時間でフル充電されます。ポルシェ・コミュニケーション・マネージメントシステム（PCM）またはポルシェ・コネクトアプリ（スマートフォンおよびApple Watch用）のタイマーを使用して充電プロセスを開始することもできます。さらに、パナメーラ ターボS E-ハイブリッドは、充電中に車内を冷却/暖房する補助エアコンを装備します。

## スポーツカーの性能、長距離の快適性、および効率性の理想的な組み合わせ

性能、快適性、効率性が完璧な組み合わせを形成します。パナメーラ ターボS E-ハイブリッドは、標準装備される純粋な電気駆動の「E-パワー」モードで発進し、ゼロエミッションの航続距離は50km（NEDC）に達します。アクセルペダルの設定された圧力ポイントを超えるか、バッテリー充電レベルが最低値を下回ると、パナメーラは両方の駆動システムのパワーを使用する「ハイブリッドオート」モードに切り替わります。プラグインハイブリッドモデルのハイオクガソリンの燃料消費量（NEDC）は2.9リッター/100km（CO2排出量：66g/km）、電気消費量は16.2kWh/100kmです。

## 広範な標準装備パッケージ

中国専用仕様エグゼクティブバージョン（ホイールベースを150mm延長）のパナメーラ ターボS E-ハイブリッドには、リアアクスルステア、ポルシェ・セラミックコンポジット・ブレーキ（PCCB）、ポルシェ・トルク・ベクトリングプラス（PTV Plus）を含むポルシェ・ダイナミックシャシー・コントロール・スポーツ（PDCCスポーツ）、パワーステアリング・プラス、および21インチ 911ターボデザイン軽合金ホイールが標準装備されます。ベーシックバッケージには、補助エアコン、アダプティブエアロダイナミクスエレメント、ポルシェ・アクティブサスペンション・マネージメントシステム（PASM）を組み込んだ3チャンバーエアサスペンションも含まれます。中国市場の発売は2017年10月予定です。

ロングホイールベースラグジュアリーサルーンのエントリーバージョン

# 中国専用：ポルシェ パナメーラ エグゼクティブ

2017年10月以降、スポーツサルーン パナメーラの新しいロングバージョンを中国市場専用に発売します。最高出力243kW（330PS）を発生する3リッターV6ターボエンジンを搭載した後輪駆動のニューパナメーラ エグゼクティブは、拡張およびカスタマイズされた標準装備を魅力的な価格で提供するエグゼクティブバージョンとなります。エグゼクティブモデルは、微細ながら優美なエクステリアの装飾によって識別されます。両サイドのドアシルには、フロントフェンダーのエアアウトレットトリムにマッチしたハイグロスシルバーのストリップが追加され、フロントのエアインテークにもハイグロスシルバーのデコラティブストリップが付加されます。さらに、中国市場向けニューパナメーラは、Cピラーにシルバーの“Executive”ロゴが装着されます。

ロングホイールベースのパナメーラ全モデルに、透明なパノラミックルーフが標準装備されます。このルーフは全長1,780mm、全幅1,200mmで、これまでポルシェに装備された最大のガラスルーフとなります。ルーフ前部のチルトアップと全開が可能です。透明ルーフを車内にある2枚のブラインドで覆うこともできます。

さらに、4つのエグゼクティブ全モデルに、ポルシェ・アクティブサスペンション・マネージメントシステム（PASM）を含む3チャンバーテクノロジーのアダプティブエアサスペンションが装備されます。拡張された標準装備には、リアのマルチウェイ電動調節式コンフォートシートとコンフォートヘッドレスト、フロントとリアのシートヒーター、および後席ヘッドレスト後方のロールアップサンブラインドが含まれます。オプションのマッサージ機能も4つの全てのシートに用意されています。これは5つのプログラムと5段階の強さから選択してスイッチを押すと、各バックレストの10個のエアクッションが背中を揉みほぐします。標準装備されるリアのサイドアエバッグが高水準の安全性を保証します。追加のスマートフォンスロットとインダクティブアンテナインターフェースを備えた大型センターコンソールはエグゼクティブモデルのために特別に設計されています。このセンターコンソールはオプションで注文することができます。

## ハイエンドタブレット付きポルシェ・リアシートエンターテイメント

リアシートのハイライトがオプションのポルシェ・リアシートエンターテイメント（RSE）です。特にショーファーサルーンとして使用される場合は、リアシートエンターテイメントの卓越した接続性によって、パナメーラ エブゼクティブの後席に便利なハイテクの仕事場が生まれます。家族と一緒の長距離走行時には、若いパッセンジャーもオプションの多機能な装備で楽しむことができます。

ポルシェ・リアシートエンターテイメントの中心は2台の10.1インチタッチスクリーンです。フロントシートのバックレストに取り付けたこれらの高解像度反射防止ディスプレイ（1,920×1,200ピクセル）は、車外でも使用できます。ディスプレイは、パナメーラのインテリアにマッチする頑丈で高品質なデザインの2台の機能的なタブレットです。

Androidオペレーティングシステムを使用するパナメーラのリアシートエンターテイメントは、32 GBの内蔵フラッシュメモリーを備え、micro SDカードで拡張することが可能です。タッチスクリーンにはビデオ通話とチャットのためのカメラも装着されています。サウンドは、タッチスクリーンのスピーカー、車両サウンドシステム、またはポルシェBluetooth®ヘッドフォンで再生されます。

広範なデジタルソースの使用が可能で、SDカード、Jukebox、CD/DVDドライブ、USBスティックでPCMメディアにアクセスできます。後席乗員は、ラジオとオプションのテレビチューナーの操作や、現在のナビゲーションルートと追加情報、車両データの表示も可能です。ポルシェ・リアシートエンターテイメントは、ポルシェ・コミュニケーションマネージメント（PCM）のナビゲーションシステムの目的地の入力もできます。

ポルシェ911ファミリーのスポーティなニューモデル

# ダイナミック、快適、そして効率的 – ニューポルシェ911 GTSモデル

ポルシェは、上海モーターショー2017でGTSモデルをアジアデビューさせることによって911の製品ラインを拡張します。後輪駆動の911カレラGTSと4WDの911カレラ4 GTSのクーペとカブリオレ、および4WDの911タルガ4 GTSの5つのバージョンが発売されます。新開発のターボチャージャーを備えた3.0リッター水平対向6気筒エンジンは、911カレラSを22kW（30PS）、自然吸気エンジンを備えた先代GTSを15kW（20PS）上回る最高出力331kW（450PS）を発生します。中国仕様の全バージョンにポルシェ・ドッペルクップルング（PDK）が用意されます。

## さらなる性能のためのさらなるパワー

2150－5000rpmの回転域で得られる550N・mの最大トルクが優れた加速性能と柔軟性を提供します。ポルシェ・アクティブサスペンション・マネージメントシステム（PASM）がGTS全モデルに標準装備されます。GTSクーペは、車高を10mm低く設定するPASMスポーツシャシーを備えます。ポルシェ・ドッペルクップルングとスポーツクロノパッケージを標準装備するファミリー最速スプリンターの911カレラ4 GTSクーペの0－100km/h加速タイムは3.6秒。GTS全モデルの最高速度は300km/hを上回ります。

性能の向上にもかかわらず、GTSは効率的です。911カレラGTSのPDK仕様車の燃料消費量（NEDC）は、わずか8.3リッター/100km、CO2排出量は188g/kmです。

## GTS特有のインテリアとエクステリアの多数のブラックエレメント

GTSモデルは、テクノロジーだけでなくビジュアル面においても911モデルラインの中で異彩を放っています。全ての車両が後輪駆動でも1852mmのワイドな4WDシャシーをベースにします。新しいスポーツデザインフロントエプロンがスポーツ性を強調します。フロントエンドは空力的に最適化されています。低い位置のフロントスポイラーとさらに高い位置に取り付けたリアスポイラーエクステンションが、カレラSモデルを超えてフロントとリアの揚力を低減します。GTSのリアは、スモークを施したテールライト、シルクグロスブラックのエアインテークグリル、そして標準装備されるスポーツエグゾーストシステムの中央に取り付けたブラックのツインテールパイプによって紛れもありません。テールライト間の新しいブラックのトリムストリップが後輪駆動モデルを特徴づけます。ライトストリップは4WDモデル専用です。スポーツデザインドアミラー、シルクグロスブラックに塗装されたセンターロック方式の20インチホイール、そしてドアのGTSロゴがサイドビューを仕上げます。911タルガ4 GTSでは、はじめて装備されるブラックのタルガバーが特徴的です。

## 新しいポルシェ・トラックプレシジョンアプリと高品質の装備

GTSのDNAはインテリアにも宿っています。標準装備のスポーツクロノパッケージのストップウォッチがダッシュボードの中央に統合されています。ポルシェ・トラックプレシジョンアプリは、GTSモデルの市場発売に合わせて特に強化されました。その機能にはスマートフォンへの自動記録、詳細な表示、ドライビングデータの分析が含まれます。シートは新しいステッチ模様のアルカンターラ仕上げです。ヘッドレストにGTSロゴを冠した4-way電動調節式スポーツシート・プラスは、サイドサポートと快適性が強化されています。その他の装備には、メータパネルのブラッシュ仕上げブラックアルマイトのトリムストリップ、さらにステアリングホイールリム、センターコンソール、アームレストなどへのアルカンターラの広範な使用が含まれます。

世界のベストセラーレーシングカーの新バージョン

# 最新式ドライブを備えたニュー911 GT3カップ

ドライブトレーンを一新したポルシェ911 GT3カップが2018年シーズンにアジアでデビューを果たします。世界で最も多数生産されたGTレーシングカーのリアには、さらなる駆動力を発揮する4リッター水平対向6気筒エンジンが搭載されています。ダイレクト・フューエル・インジェクションを備えたコンパクトなエンジンは、純血種のモータースポーツテクノロジーによって最高出力357kW（485PS）を発生します。

革新的な要素を幅広く採用したことで効率性とエンジン性能が引き上げられたほか、レーシングモードでの耐久性向上とメンテナンス費用の低減も実現しました。強固に取り付けたロッカーアームとセンターオイルフィードを備えたバルブドライブが初めて採用され、さらに、エンジン内のオイルの消泡を最適化するために、統合されたオイルセントリフュージが使用されています。クランクシャフトの剛性も大幅に向上しています。

新しいフロントエプロンとリアエンドが、ニュー911 GT3カップのダウンフォースを改善してトラクションと性能を強化します。目立つ184cm幅のリアウイングは、先代を受け継ぎます。ホイールサイズも変更がなく、センターロック式ワンピース18インチ レーシング ホイールと、フロントに270mmミシュラン レーシングスリック、リアに大型の310 mmトレッドが装着されています。インテリジェントなアルミ・スチール複合構造が、最高の剛性と軽量ボディを保証します。ニュー911 GT3カップは、わずか1,200kgの重量でレースに備えます。

さらに、エンジニアは再びドライバーセーフティに特に焦点を合わせて開発を行いました。ドライバーは強固なセーフティケージと、頭部と肩部の周囲を特に頑丈に成形した革新的なバケットスタイルのレーシングシートによって保護されます。最新のFIA基準に従いルーフの拡大されたレスキューハッチは、事故後の初期治療と救出を容易にします。

今年はポルシェMobil 1スーパーカップ、ポルシェ カレラカップ（ドイツ）およびGT3カップチャレンジ（アメリカおよびカナダ）のF1のサポートレースでのみ使用されたニュー911 GT3カップは、来年以降に開催されるアジアのポルシェ カップにおいて使用することが可能です。ポルシェは、世界中のカスタマーチームのために911 GT3カップのみで競い合う20のレースシリーズを開催しています。1998年以降、996、997および991のモデルラインで、合計3,131台の911 GT3カップが製造されました。この数字からも分かる通り、ポルシェのカップレーシングカーは、世界で最も多く生産・販売されたレーシングカーとなっています。

*ポルシェ ニュースルーム（*[*http://newsroom.porsche.com*](http://newsroom.porsche.com/)*）とポルシェ プレスデータベース（https://presse.porsche.de）の画像データをご利用ください。*

## 

# 燃料消費量とCO2排出量

911カレラGTS：複合燃費 9.4–8.3 リッター/100 km、CO2排出量 212–188 g/km

911カレラGTSカブリオレ：複合燃費 9.4–8.4 リッター/100 km、CO2排出量 214–190 g/km

911カレラ4 GTS：複合燃費 9.5–8.5 リッター/100 km、CO2排出量 216–192 g/km

911カレラ4 GTSカブリオレ：複合燃費 9.7–8.7 リッター/100 km、CO2排出量 220–196 g/km

911タルガ4 GTS：複合燃費 9.7–8.7 リッター/100 km、CO2排出量 220–196 g/km

911カレラ4S：複合燃費 9.0–7.9 リッター/100 km、CO2排出量 208–180 g/km

パナメーラ ターボ1)：複合燃費 9.4–9.3 リッター/100 km、CO2排出量 214–212 g/km

パナメーラ ターボS E-ハイブリッド エグゼクティブ：複合燃費 2.9 リッター/100 km、  
複合エネルギー消費量 16.2 kWh/100 km、CO2排出量 66 g/km

パナメーラ4 スポーツツーリスモ1：複合燃費 7.9–7.8 リッター/100 km、  
CO2排出量 180–178 g/km

パナメーラ4S スポーツツーリスモ1：複合燃費 8.3–8.2 リッター/100 km、  
CO2排出量 189–187 g/km

パナメーラ ターボ スポーツツーリスモ1：複合燃費 9.5–9.4 リッター/100 km、  
CO2排出量 217–215 g/km

パナメーラ4 E-ハイブリッド スポーツツーリスモ：複合燃費 2.5 リッター/100 km、  
複合エネルギー消費量 15.9 kWh/100 km、CO2排出量 56 g/km

カイエンS E-ハイブリッド1：複合燃費 3.4–3.3 リッター/100 km、  
複合エネルギー消費量 20.8–18.6 kWh/100 km、CO2排出量 79–75 g/km

1. 数値は装着するタイヤによって異なります